

2024年7月

株主各位

株式会社アーレスティ

第103回定時株主総会の質疑応答要旨について

2024年6月28日(金)開催の第103回定時株主総会にて株主様からご質問を頂きましたので、その質疑応答要旨をお知らせいたします。

(質問1) ギガキャストに関しての当社のスタンスについて

(回答1)

基本スタンスは中立です。ギガキャストは非常に大きな設備であり、設備、設置工場、インフラなどをあわせると約100億円以上の投資が必要です。製品サイズも大きく、ネックは物流コストが高くなることです。当社のような専門ダイカストメーカーがギガキャストを採用する場合、自動車メーカーの車体工場内、もしくは隣接地で生産しないと採算がとれません。また、自動車メーカーもギガキャストの採用をどこまで拡大するのか、マーケットの大きさは不透明な状況です。各自動車メーカーが内製するのか外注するのかの戦略によっても状況は変わってきます。自動車メーカーも自社だけではできないところもあるので、技術支援、開発支援などができるよう、技術交流を進めています。

外注される場合には、当社として前向きに検討したいと考えておりますが、専用工場が必要となることも踏まえ、どのような長期のアライアンス契約が可能かを探っていく必要があります。マーケットが大きくなった暁には参入する可能性もあると考えていますが、現段階では中立です。

(質問2) 育児休業の取得率について

(回答2)

招集通知に記載の「女性の産前・産後休業、育児休暇取得率100%」は女性のみに関する記載です。また性別的役割分業を連想させる表記となっているというご指摘に対しては、次年度以降で改善させていただきます。

尚、男性の育児休業取得率につきましては2023年度43.2%、平均取得日数は40日です。詳細は [Ahresty Report2024](#) をご参照いただければと思います。男性の育児休業取得率100%を目指して活動を続けてまいります。

(質問3) 中国拠点における今後の生産再編の見込み及び中国市場の見方について

(回答3)

中国での減損損失を行うことになった際、中国市場の今後の見通し等の予想も行っており、その中では日系自動車メーカーの販売不振が継続することを前提としています。日系自動車メーカーの挽回戦略の具体性が弱いということもあり、保守的に見て現在の戦略を立てています。

売上が伸びない中でも収益を確保するため、最適な人員体制への移行に関してもまだ推進途上であり、今期に完了する予定です。また事業ポートフォリオについては、日系自動車メーカー以外で当社の強みである品質に価値を認めていただけるお客様がどの程度なのか、マーケットサイズを見極めたうえで生産再編の要否を見極めようとしている段階です。

(質問4) 社外取締役の自社株保有について

(回答4)

社外取締役は中立の立場であるので自社の株を買うべきでないという意見もあるが、個々の取締役の判断によると考えており、一般論としては、自社株を保有することは問題ないと考えています。

尚、株式の購入可能時期についての情報は社外取締役にも展開するようにしております。お知らせをすることでインサイダー取引の心配なく、適正な判断の中で購入できるようにしています。

以上